



'64 October  
16. 17. 18

東京都立大学附属高等学校

# 記念祭

新制  
16回

大学受験  
高校補習

# 代々木学院

## 冬期講習会

=受付中=

高校科 開校日 12月26日

- ◎高1・高2クラス：各学年の英・数・国完全履修を目標とする  
◎高3クラス：現役合格を目指し英・国・数の徹底指導

各学年とも学科受講も可、理科社会も別申込みで受講可

**大学受験科 ◎特設単科—12月17日—英・国・数実力完成**

- ◎本講習—12月24日— ◎全講習—12月17日—  
志望大学別クラス、各大学の傾向に即した授業を行ないます。

東京都渋谷区代々木1—55 国電 代々木駅下車大通り右へ1分 電話 (371)4545・9666

受験生の間で  
定評のある

## 公開模擬試験

暖房設備完了

- 4回 11月8日(日)英・数・国・社 11月9日(月)理科のみ  
第5回 1月10日(日)英・数・国・社 1月11日(月)理科のみ  
第6回 1月31日(日)英・数・国・社・理(地理は2科目)  
会場 代々木学院、東京学院(国電・水道橋下車)

受験料 英・数・国 各70円 理・社各50円

詳細入学案内連絡あり至急送いたします。

## 大学受験・高校補習

# 目黒ゼミ

目黒区宮ヶ丘1712 TEL (717) 6310  
数理専修学院内

冬期講習 12月20日より1月6日(1、2、3休)

# 武藏高等予備校

新築中の新校舎での授業は11月1日より

大学受験 武藏の公開模試 最高権威

- ▶期日—第2学期 第2回—11月8日(日曜日)  
▶科目—英語・数学・国語・理科(1)・社会(1)  
▶答案—試験後一週間以内に個人成績表を添えて返付する  
▶解答—全科の解答集は当日全試験終了後交付する  
▶申込—各回夫々試験3日前迄とする

(大学) (受験) 冬期講習会 (暖房完備)

▶会期—自12月20日(日)一至12月31日(木)

(期間中の日曜日は休まない)

- ▶昼間部総合科第一類 (東大理系東工大他国立大理系を対象)  
▶昼間部総合科第二類 (東大文系一ツ橋大他国立大文系対象)  
▶昼間部総合科第三類 (早慶等私大文系と特殊国立大文系を対象)  
▶午後部理社選択科 (6科目中2科目選択制)  
▶内容のくわしいことは案内書10月下旬発行する

学校(大塚駅3分) 東京都豊島区巣鴨6-20  
位置(の東方高台) 電話東京982局2050-5489

# 記念祭を迎えて

都高の歴史を抱い、第16回記念祭が開かれるに至った。

19年前、『古きいらか』は、社会の流れの前に音をたてて崩れ去ったのだ。が、現在我々の前で『古きいらか』は、建てなおされているのだ。我々は忘れてはならないと思う。過去の先人のたたかいを。古い社会秩序にたいする精一杯の抵抗を。『反戦平和』もその抑圧と弾圧の暗黒の学園生活の中で、最低の要求として叫けばされたのだ。叫けばなければならなかつたのだ。

記念祭の歴史は（古い社会秩序にたいする）抵抗の歴史ではないか。しかし、今日、我々は、予備校化の嵐の中で、マスプロ化された授業により、学問の価値を忘れさせられ、我々は孤立化され、人間除外への道へ導びかれ、我々は規格化された人間となっているのだ。その結果、我々は、社会秩序にたいして盲目的な追従をおこない、社会の流れの中にのまれている。我々は、全ての既成の事物にたいして批判し、現存の社会秩序を破壊し、我々自身の手で我々の社会をつくらなければならないと思う。我々は、考えそして実践しなければならない。現在我々に最も必要なことはそれだとと思う。我々は我々のおかれた社会を知り、我々の任務を遂行しよう。初めてそこに、眞の意味の記念祭が存在し、記念祭が記念祭として存在する価値があるのではないか。

記念祭執行委員長 深谷信夫

記念祭三日目の夜、その夜の野性的なファイアーアのあの方々は瞬間を誰も忘れるることは出来ないだろう。しかし記念祭は瞬間ではないのだ。我々のあらゆる思考力とエネルギーを結集させ、作りあげる感動に満ちた期間なのだ。我々の高校生活の中でこれはほど巨大な創造があろうか。多くの先人達の手による都高精神の創造の中で常に記念祭はその中核をして来た。そして今もその行為が我々の全エネルギーによってなされて行く。

戰後十九年、日本の社会は急速な発展をとげ、今や世界屈指の経済力をほこる資本主義国家となった。そして我々の物質生活は日々向上していくようには感ぜられる。しかし何か、いつも不安なのだ。この一見平和に見える、学園の中にしひよるどす黒い社会の悪の手を感じるのである。そしてこの三年間しかない高校生活が不安と焦躁とそしてその間から懸命に顔を出す楽しさ……に終わってしまいそうなのだ。

しかし我々の手の中に悪と対決する力強い闘いの武器一白山と自主の自治一がある。そしてその最も強烈な表現が「記念祭」なのである。そしてその力は高校生活の不安を正しく認識し、そして打ちやぶる力をもっているのだ。

自治会執行部

## 目 次

記念祭を迎えて	1	展示案内	9
プログラム	2	目標、スローガン	12
演劇案内	3	都高を考える	15
講演会案内	7	特集「反戦平和」	18
全校案内図	8	編集後記	19

# プログラム

10.16 (金)

開会式	2·D	音智	放研	昼休み	2·E	
8	9	10	11	12	1	2

1·A	3·B	フォークダンス
3	4	5

10.17 (土)

	2·C	E.S.S.	スポーツ	
8	9	10	11	12

10.18 (日)

	2·B	木綿	2·F	昼休み	1·D	定時制	
8	9	10	11	12	1	2	3

3-C	閉会式	フライヤー
4	5	6

# 演・劇・案・内

## ドモ又の死

2 D

演出 加賀山 哲、吉田 万三、中沢いそ江  
 配役 花田 加賀山 哲  
 沢本(生薑) 伊藤 利座  
 戸部(ドモ又) 相沢 志郎  
 瀬古(若様) 重信 常治  
 青島 入山 善  
 とも子(モデルの娘) 福島 圭子

売れない若い絵描きが5人……それを見すてない  
 モデルの娘が1人……いざとなればミューズの女神  
 と待ち死にだと頑張っていた。しかし、しかし、し  
 かし、絵は売れず、部屋には絵具も無くなつて、こ  
 うなれば、ふたんの馬鹿正直は放っておいて……。俗  
 物ブローカーの財布から金をまきあげて、芸術の職  
 いを続行しよう。

その悲愴なる決意……

人を喰つた計略……

6人が俗物に浴びせる嘲笑は、痛快な響きでわれ  
 われにせまる。

くたばれ大先生、名前がなんだ。

要は、実力じゃないか……。

そして

花田いいか、この際笑いでもした者は、敵に、内  
 通したと見て制裁を加える、いいか、それじゃ、  
 ドアを開けるぞ……。

作戦開始!!

笑ってはいけない。笑う者は、そう、たとえ観客  
 でも制裁を加える!!

## 音 智

1、御陵威(ペートーベン作曲) 2、海の若者  
 (大中恩作曲) 3、曲がり角(NHK) 4、男声合  
 唱(二曲) 女声合唱(二曲) 5、祖区(津川圭一作  
 曲) (今年も御陵威で幕が開きます)

## 天国行きの乗合馬車 放研

演出 市川 敦子  
 配役 少年 守山 尚子  
 父 鶴岡 誠  
 母 北原 早瀬

ポンス 加賀山 哲

駆者(サー・トマス・ブラウン) 齋田 宏

番り手 木畑 洋子

ある日、一人の男の死体が発見された。死因はどこか高所から落ちたためのようであった。この事件は1人の少年が好奇心にかられ、うすぐらい小路へ入って行ったことから始まったのだ。

## 幽 霊

2 E

演出 北村あやこ・桜並 滉子

配役 ヘレーネ・アルヴィング 佐藤幸利子  
 オスワル 林 博俊  
 牧師マンデルス 荒井 懿  
 指物師エングストラン 中根 周歩  
 レジーネ・エングストラン 山岡 秀子

かあさん、僕はあなたに僕を生んでね、と頼みや  
 しなかった。しかもあなたの与えて下すった僕の生  
 命はどんなものでしたろう。僕はねえ、生れつきか  
 ら醜いのところがあるそうですよ。親の罪悪がね、  
 子供に報いるんだって。ああ、それにしてもこの國  
 の気候は何て陰険だ。そうだ、あなただって——こ  
 の世は苦痛の谷だということを信じている。あなたの  
 大嫌いな世間一般の考え方をしているんだ。あなた  
 の中にても幽霊が蝕っているんだ。そんなものがす  
 べてを噛っぽちにし、噛っぽちの人生をしてあげ  
 るんだ。

ああ、かあさん僕を愛しているんなら、この僕の  
 言いようもない苦痛を黙って見ていてないで。

「かあさん、僕にその太陽をください」

## 人間ざらい

1 A

演出 中尾 純・辻 満夫・池田 悅子  
 中山真知子・柏木 明子

配役 アルセスト 秋吉 信夫  
 フィラント 菅田 敏彰  
 オロント 太刀川和男  
 セリメーヌ 石井 妙子  
 エリアント 大前 幸子  
 アルシノエ 芳賀美土子  
 アカスト 平林 和李  
 クリクンドル 田宮 徹  
 バスク 阪部 俊雄

元師法廷警手  
デュボワ

佐久間栄一  
阿部 利康

自分の生きている時代に、うまく同調できない人間嫌いな男と、彼を取り巻く人々の言動を、可笑しさとユーモアとの明るい表面でかくされたきびしい風刺の精神で追って行く「喜劇」。常にわれわれにおける現代と関連させながら果して眞の人間性とは何なのか、と鋭意追求し問題を提起する。

## 国境の夜

3 B

演出 野口 修・吉川 瑞美

配役 大野三四郎	渡辺 新一
漫画者	古郷 新見
大野 ゆき	原田 賢子
大野みどり	山田 章子
大野 二郎	宮岡 浩一
大野 五郎	
アンシリカ	長沢 英二
男	近藤 宏
女	清水真利子

大野三四郎は、五十才少し過ぎのかなり大きな農場の経営者であった。北海道開拓民であった彼は、「他人の生活に立入らない代りには他人にも自分の生活に一步も立ち入らせない」という人生五十年間の苦労の中から織かれた哲学をもっていた。

……ある吹雪の晩、凍死寸前の親子が一夜の宿を求めた。しかし三四郎は断固として拒絶した……。

## 若人よ蘇れ

2 C

演出 高田 利行・中尾 宏行・小林阿沙子

配役 学生 平山	藤川 俊三
〃 鈴木	吉 洋二
〃 林	土屋 明美
〃 大村	谷川 栄一
〃 本多	川添 鉄也
〃 谷崎	竹野 泰文
〃 山川	宍戸 三郎
〃 戸田	割田 俊明
〃 倉持	斎藤 利夫
北村教授	小川 智
小宮助教授	轟江 邦夫
酒井海軍經理中尉	栗田 栄一
千葉海軍中尉	藤井 東
城海軍少尉	石井 鮎
中山房子(鈴木の恋人)	田中 道子

若人よ蘇れ

不死鳥の翼もて

たけき焰は狂うとも  
若き血潮は滅びぬば  
心やさしき乙女子も  
わが手をとりて歌いなん  
若人よ、若人よ、今せ蕨る  
第二次世界大戦は、世界にとって大いなる破壊であ  
った。しかし20世紀はその破壊を基盤にそれで勝  
る飛躍をせねばならない。

歴史は繰り返すものではない。古き帝国主義、古  
き民族主義、古き天皇制、古き独裁主義、古き全体  
主義、こういうものは死んで二度と生き返ってはな  
らない。われわれは生きるのだ。平和のために、人  
類のために……。

## THE EMPEROR'S NEW CLOTHES

E, S, S

演出 近藤 基晴

配役 EMPEROR	福地 鳥
QUEEN	馬場 清美
DAUGHTER	片岡 由美
WEAVER I	松下 美久
II	上野 要
MINISTER I	菅 洪二
II	下田 和子
STATESMAN	坪 美佐子
SERVANT I	近藤 邦代
II	間中 茂子
CARRIER I	近藤 高
II	庄高 正雄
III	冢田 和子
IV	下村 朋子
FATHER	斎藤 寿司
BOY	荒木みどり
NARRATOR	香田 紀子

みなさまおなじみの『裸の王様』演じますのはこれまたおなじみのE・S・S、英語でうまくいきましたら拍手ごかっさい。まずせりふの一部などどうぞ。

"THE EMPEROR IS IMPRESSED WITH OUR WORDS WHICH ARE VERY STUPID OR UNFIT FOR THEIR OFFICES CANNOT SEE THE MATERIAL.,

まあこういうことをいって王様をだますんですから……おたのしみに。.

# 光 ご け

2 B

演出 荒川 順一・菊田 俊夫・瀬戸あい子  
山本久美子・古川 康子

配役 船長 金井 學  
船員 西川 新妻 亂和  
〃 八歳 井上 修  
〃 五助 矢島 陽一  
判事 小林 信一  
弁護士 金子 良夫  
その他 吉村 寛電  
船長 藤原 秀樹

飢餓の極に達して、しかも絶対にそこから脱れられなくなった男たちの犯す罪悪は

- 1、たんなる殺人
- 2、人肉を喰う目的でやる殺人
- 3、喰う目的でやった殺人のあと、人肉は喰べない。
- 4、喰う目的でやった殺人のあと、人肉を喰べる。

5、殺人はやらないで、自然死の人肉を喰べる。

大東亜戦争開戦より昭和十九年十二月三日早朝、急務を白い、知床経由、小樽港に向か根室港を出航した船団「曉部隊」の第五清神丸の船員達は、彼ら純粹なる日本人そして文明人は極寒の中の飢餓状態で、人肉喰いといふ行為からは無關係だつただろうか。彼らは何をがまんしただろうか。文明人による文明のための人肉劇。

## 水泳部

演出 安田哲也 その他

配役 稲垣 進、東完次、村山武、桜井謙治、阿部俊雄、森田健一、平井卓、川井博、相沢広美

水泳部の劇です。去年は遂にわが水泳部は例年大好評の劇を上演できず全く残念でした。しかし今年を見て下さい。去年の分も合わせて、2倍の面白さで全員が一生懸命演じます。是非御観覧下さい。

## 若 年

2 F

演出 江尻 実・大久保紀雄・足立 寿子

配役 日下三平

その叔父

その叔母

従妹

塩田

米山

倉上

美世

大井先生

武裕 光晶

来嶽 満

山下 保子

登坂ゆき子

木室 正博

平島 久之

浅井 勝彦

沼田生智子

眞崎 弘二

ここで問題になっているのは私たちと同世代の主人公の生き方です。この時期がいちばん精神的に不安定な、また人間形成にも大切なときであるということはいうまでもありません。そしてこれらにはたらくなき要因として「環境」があげられます。主人公日下三平の環境は私達のそれに比べれば特別なものであるといえましょう。でも私たちがこのような立場におかれたらどうするでしょうか。どう生きてゆくでしょうか。この劇を見たあとで、この劇がもちだした我々の問題を皆で考えていくうではありませんか。

## おはよう！ 僕の祖国

1 D

演出 藤野 重太・野村 良和・西出 明吉

配役 金少年

桶原 鶴生

毛

板井八王子

元気のよい少年

真田 竹生

青白い男

黒田 勝士

監守

加藤 哲明

小松川事件をもとにした劇。——朝鮮人であると言ふことだけで就職や進学などに差別を受け、その他の生活でもみんなから冷たい目で見られ、もうどうしようもない状態から殺人をしてしまった朝鮮人少年金が死刑の判決を受け、監獄に入ってくる。

(ここから劇が始まる) そして、その獄中で、罪を認識して自分は日本の中の朝鮮人二世としてどのように生きなければならなかったか」を自覚するまでの過程を描いていく――

この劇を通して「愛について」「在日朝鮮人蔑視」「朝鮮とは」「青少年の非行化」などの問題を、相互に関連づけ、また私たちの記念祭スローガンである「友情」とも結びつけ考えて行きたい。

## 音 智

1、御稟成(ペートーベン) 2、世界の民謡、遼かかるサンカルテア(イタリア)。卓競馬(フォス

ター) (アメリカ)。GO DOWN MOSES (黒人靈歌)。ペトルスとマルーシャ (ロシア)。白樺の木 (ロシア)。お江戸日本橋 (日本)。五木の子守唄 (日本) 3、ハレルヤ (ヘンデル)

## 変な奴等

### 定時制演劇研究班

演出 五十嵐政治

配役 男1 岩田 正秀 2 星野 文男  
3 佐藤 正和 4 大出 洋寧  
女1 石橋 幸枝 2 渡辺とも子  
3 矢野須美子

ナレーター 井上 畏

君の笑顔、貴女の笑み、若者の明るい顔、頬、頬、でも一寸胸に手を当て考えてごらん。ホラ、心の奥に小さな、小さな悩みがあるだろう? ソーラ、ソーラ、それがだんだん大きくなってきたんだろう? そんなことないって……強がり言つても駄目さ! 僕にはチヤンと解ってるんだよ! ……

でもそんな時は横を向いてごらん。ホラ、いるだろ? 誰かが! いないって? ……

又意地をはる! いるじゃないか、そこに。よく見てごらんよ……

そ、その人だよ、君の悩み事の相談に乗ってくれる友だちだよ。

君たちは若くて元気で愉快な仲間なんだよ

サア、手をつないで大声で青春を歌おう!!

## 『汚れた手』

3 C

演出 青木 正久・奥 幸一郎・藤田公太郎

配役 (登場順)

オルガ	小林 絹枝
ユゴー	立川 情治
シャルル	石川 清
フランツ	大下 敏史
ルイ	鈴木 福雄
シェシカ	鳥飼志美子
スリック	古沢 滋一
ショルジュ	布施 和之
エドレル	奥 幸一郎
カルスキー	伊藤 嘉次
ポール公	鈴木 稔雄

僕は命令を実行した、彼を殺した。彼は悪い政策を遂行し、同志たちを騙し、党を腐敗させる危険を

冒した。

それから二年後、牢屋の扉は開けられた。しかし、外の世界は以前の世界ではなかった。ドイツ軍は次々と奪回していた。党は政策を変えた、党は政府とパンクゴン党とで地下組織の委員会を構成した。……どこかで聞いたことがある。……そうだ、すべてが同じだ、彼の言っていたこと。

彼は僕を信頼してくれた。党は僕を信頼してはくれなかっただ。そうさ、党というメカニズムの中で僕は『道具』でしかなかったのさ。だが彼は僕を信頼してくれた、一人の『人間』としてみてくれた。

僕が彼を殺したのではない。あの時ドアをあけなかつたなら……。偶然が殺したんだ。いや、彼のような人間は偶然では死にはしない。政策のために死ぬのだ。…………

保険医療取扱機関

## 山下歯科診療所

目黒区自由ヶ丘110 丸元ビル  
(717) 3178

### ○診療科目

歯科一般

### ○診療時間

平日・午前9時～午後7時

日曜・祭日は休診

電話予約可

### ○小児歯科 歯科矯正は午後5時迄

口腔外科は午後5時以後が好都合です

# 講・演・会・案・内

## 『高度経済成長政策と能研テスト』

講 師 三井 炳友氏（都立大教授）

○主 催 自治会教研局

○10月17日 午前11時

○新音楽室（4階）にて

昨年の秋について、今年もこの十一月に、能力開発研究所によるテストをおこなわれるようとしています。即ち、このテストのもつ色々な点、例えば技術的におどるとか、教育の国家統一であるとかがあげられていますが、能研テストの本質を知るためにには、それがでるに至った背景を知る必要があるでしょう。そのために、背景の大きな要素である、経済界と能研テストとの関係をお話していただきます。はば広く能研テストを知るために講演を聞きましょう。

## 『在日朝鮮人と朝鮮』（座談会）

講 師 鬼頭 忠和氏（日朝協会東京都事務局長）

○主 催 社会科学研究所

○10月18日 午前10時半

○1番教室

最近、在日朝鮮中高生に対する暴行やおどしが多数起っている。その理由はただ「朝鮮人だ」からということで…。進学や就職においても「朝鮮」というものを他外国とは違った見方をするようなことがあるのではないだろうか。それはどこからくるのだろうか。また私たちはこのような問題を考えいくにあたって口論会議や民族の問題などを忘れてはならない。

——実際に朝鮮を昨年訪問した鬼頭先生にお話を聞き、話し合い、私たちの日常生活の中でこれらの問題と一緒に考えようではありませんか。

## 『アメリカ原子力潜水艦は何をしにくるか』

講 師 服部 学氏（立教大教授）

○主 催 自治会原高連局

○10月18日 午後1時半

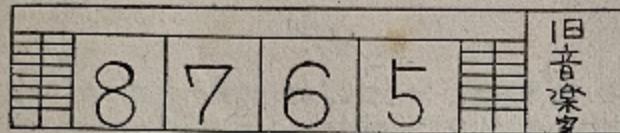
○新音楽室（4階）にて

原子力科学者の立場から、アメリカ原子力潜水艦は果して安全か……原子力潜水艦とはどんなもので、何のために造られ、何をするものなのか。また原子力は平和に利用されねばならない、ということを。

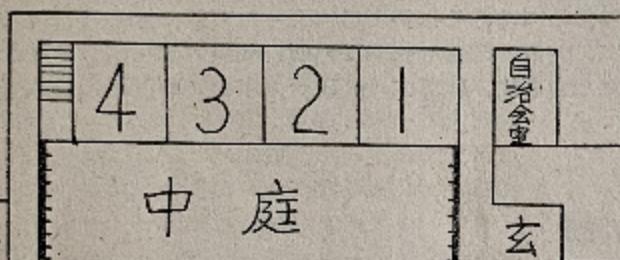
しかし、今回の米原子力潜水艦日本寄港問題に安全性だけ？の問題にすりかえではならない。緊迫しているアジア情勢の中で、米原子力潜水艦は何をしにやって来るのか。日本国民の、またアジアと日本の平和、安全が、寄港によって利益になるか……。などの講演をしてくださいます。

H・R やクラブで友人と話し合ってわからなかったことや、これから私たちは何をしていけばいいか、などを一緒に考えていきましょう。

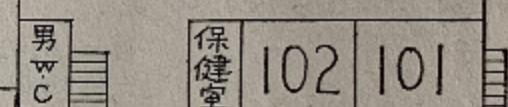
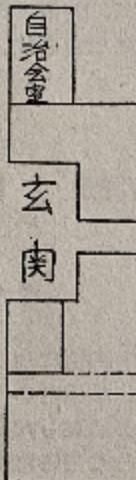
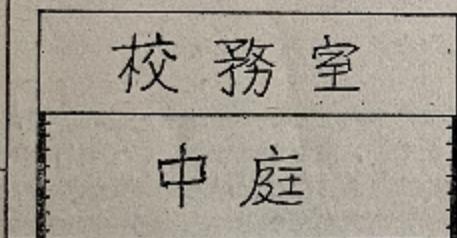
N  
4



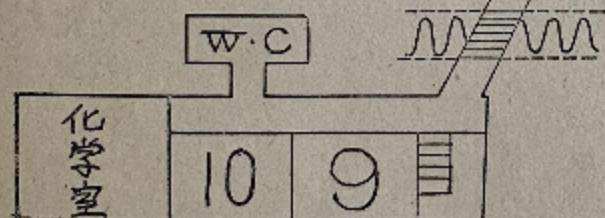
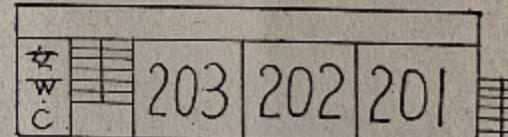
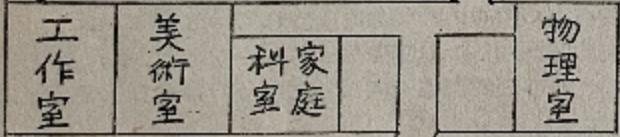
2階



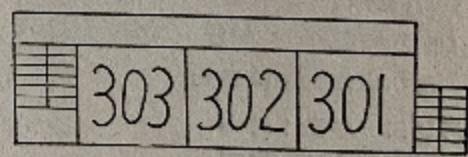
W  
·  
C



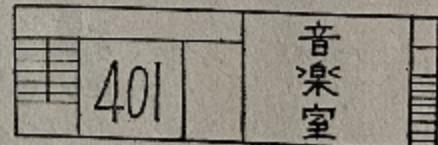
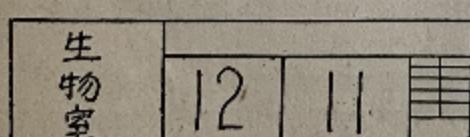
2階



附高  
圖書館



3階



4階

# 展・示・案・内

## 在日朝鮮人と朝鮮

社会科学研究会

例えばだ、君が朝鮮人という語を、そのチョウセンシンと音をだが、君の耳の中に響いた時どんな反応が反射的に起つてくるか。果して米国人・ギリシャ人と言った語と同じに聞こえてくるか、もしかして小学生の頃にはやし言葉として使つた「朝鮮人」が頭の中のどこからか餘々に浮び上つてこないだろうか。そして、そのむなしいリズムを頭の中に閉じ込めたまま、そのまま、大人になっていってよいものか。そんなものではないだろう。僕達の周りを少し注意深く見つめてみると、一つの民族が絶えずその國を治めている民族の目を気にしながら、それでも一日精一杯に暮して行かなければならないという事実に気がつくはずだ。

私たちはこのような問題を考えてみた。

## 健全な民主主義の育成

1 F

民主主義、そりゃあってそれが何であるかはっきりしない。しかし現に僕等の周辺にそれがあるのだ。高校生である僕等はそれらにどう対すべきか？ 次の世代にならるべき僕等は当然それを深く考え、眞の民主主義を、満足できる民主主義を造つていかなければならない。そこで僕等の小さな目を次の三點に向けてみた。

1. 民主主義の起源、歴史、その将来。
2. 日本と世界の民主主義。
3. 民主主義と教育

## 社会保障

2 G

社会保障の研究、と言つても何も慈善事業の尊さを研究したわけではありません。なぜあのように日々飢えを滿えす為にのみ役々と働くなくてはならない人がたくさんいるのでしょうか。

なぜあのように惨めな毎日しか送れないのでしょうか。中小企業の人達は、みんな必死になって働いているのに。人間ってみんな平等に『幸せ』を与えられるはずではなかつたのでしょうか。

私はこんなことを考え合つたのです。

## 非行問題

新聞部

現在叫ばれている非行とは何なのか！

その原因の究明！

その実体は！？

われわれは「非行」をあらゆる面から眺め、あらゆる面から検討し、ありとあらゆる面から分析して、あらゆる人々に「非行問題」に注目し、「非行問題」について考えてもらうためにこの研究を発表する。

## 世界の教育

2 A

世界の個々の国、各々の地域によって異なる教育制度、これによって生ずる教育に関する諸問題、その中でわれわれと同年代の高校生は何をし、何を考へてゐるのだろうか。こう素朴な質問に答えるべく、この問題をとらえ考えていく活動を起こしたのです。われわれは日本の教育を世界の教育の中でとらえ、現在の受験制度や六・三制、また高校生の役割や高校生のあり方をここにもう一度考える必要があるのでないでしょうか。

## 写真展

写真部

○組写真 高校生能研テスト、原子力潜水艦寄港というような考えさせられる道をたどる社会の中でわれわれ高校生はいかに生活しているか。眞の高校生の姿はどんなものか。これらの写真を見てそういう事を理解してもらいたい。

○自由写真、特殊写真

## 原高連

原高連都高支部

現在の緊迫した極東及び東南アジア状勢の中で、私たちが、核実験に反対し、完全軍縮を望み、世界平和を希求することは、非常に重要なことです。原高連自体の存在が疑問視されている今日、原高連活動の歴史と現在の状態を考えてみたいと思います。

また今日の平和の大きな問題である、米原子力潜水艦寄港問題を考えてみたいと思います。

## 能研テストと教育のゆくえ

### 教 研

高度経済成長に伴なう人的能力開発がいわれている今日、能研テストは私たちにいかなる影響を与える、また、その背景が一体何であるのか、私たちはこの問題を究明しながら、私たちのうけている教育を考えてみた。

## 東京付近の高校生の実態

### 1 E

「今世界をさわがしている青少年の非行化と受験問題などを私たちと同じ高校生はどう思っているだろうか？　さらに高校生活について他の学校の人達はどう思っているのでしょうか？」

ではこれをアンケートにとろう！

そしてその結果から自己を振り返ってみよう。皆さんもこれを見て、自分のことを考えて下さい。

## 山岳展

### 山 岳 部

今年は、例年のような展示はマンネリ化を防ぐため行なわず、カラースライド、写真展示、「しき」の発行を行ないます。

## 放 研

- 「アマチュア無線の実用性」をレポート
- 「アマチュア無線の面白さ」をこの趣味の性格と共に順をおって説明
- 機械（受信機、送信機等）の展示
- ワイヤレスマイクやトランシーバを使ってのデモンストレーション。

## 機 研

鉄道では、昨年に比べレール、列車が倍増しすばらしいものとなりました。また、我国唯一の鉄道専門誌であるT M S社から記事を取りに来るという話もあります。ラジオでは、10球通信型受信機を始め、トランシーバー、ワイヤレスマイク、エレクトロニクス応用セット等があり楽しいものとなりました。自動車では四輪車は予算の都合で手が出せませんので二輪車に重点を置き実際に動くオートバイ等

を展示します。

## 美術展

### 美術研究会

美術室にて美研展を開きます。それとポスター展を行ないます。ポスター展は美研主催で募集いろいろ賞を用意しました。

## 生物展

### 生物部 生物室

生物部では昨年に引き続き、ネズミの学齢ウニの発生及び過程の説明、ショウジョウバニの遺伝、ペーパー・カラムクロマトグラフィー等を行い、新しい試みとして、ネズミに電気ショックを与え、他との違いを見てみました。

新しい展示では、空中バクテリア、プラナリア等の再生、いろいろな動物の解剖及びその説明、プランクトンの観察、海産生物、浅間山付近の植物、蝶の展示、等を行ないます。

## 天文気象部

### 物 理 室

#### 天文

この夜空をかざる星にもすばらしい命がある。その宇宙の法則をすばらしい大型写真により探究する。

・天体望遠鏡による太陽観測を公開

#### 気象

「ちかごろの地球は不可思議だ」「また、地震だ！」この頃の大地震を研究解析する。

- ・一年間の気象観測の原則を公開
- ・「地震の木」発売
- ・気象観測器具一般公開

#### 特別出品

伊豆の地質　伊豆半島は富士火山帯の一部である。この複雑な地質を岩石標本をそえて出品する。

## 物化展

### 物化部・化学室

化学部……今までの活動内容は、定性・定量分析を行い、ベンゼン核やそれを持つ有機体について知識を深め、実験を重ねてきました。今度の記念祭で

は今までやったことをすべて応用し、かつ楽しくやっていこうということで、食品化学の炭水化物についての研究を行います。

#### 展示内容

○炭水化物の定性……種々の食物中に炭水化物が含まれているか否かを調べます。

○炭水化物の定量……食物中にどれ位、炭水化物が含まれているか、その割合(%)を測定。

○炭水化物のペーパークロストグラフィ……食物中にどれ位、炭水化物の成分を調べます。

○各種合成実験……これは食べられるものですから、御気軽にどうぞ。

物理部……物体の運動のストロボ撮影と光電管の実験を行なう予定です。

## 図書委員会

1、分類別貸し出し数と、クラス別貸し出し数の毎月の統計。その傾向等の発表。

2、貴重書の巡回

3、過去の都高の文化遺産の展示（同人雑誌他）

## スローガンと作品

### 1 B

わが学級のスローガンは「責任ある行動をとろう」というもので、その意味するものが広域に渡るため、作品の決定に際しても色々と話し合われました。結局「皆が自分の仕事に責任をもち、協力し合ってゆけば良い」と言う考え方の基に、参加作品「便箋箱、ベンチ、文集」が生れた（と言うより計画された）訳です。

文集は「友情と恋愛」に関して語り合ったものを集るもので、その話し合いの場としてのベンチ、話し合いの際に出た紙クズなどを入れるのがゴミ箱と関連して計画されています。記念祭後も多いに活用されることを望みます。

話し合いの際になぜゴミが出るかと申しますと「話してばかりいると腹がへるし、のどもかれるゾッ」という一男子の言葉からも説明がつくと思います。

## 花壇

### 1 C

私たちは、なぜ花壇をつくるのか、最初は簡単そうで、楽で、考える必要がないから。しかし、今は、そんなふうには考えない。この仕事を実行するには大きな2つの意味がある。第一には、クラ

スの団結。4つの係に割けた。交渉、予算、設計、買物、それぞれが協力して、初めて成功するものなのだ。第二は、自然に親しむこと。両方とも私たち、特に都会に住む高校生にとって大切なことであり、この記念祭こそそのよい機会なのだと思います。

## 文集

### 3 A

われわれは一日たりとも考えずには生きていけない。そして、日々の行動、現象に頭をひねるのである。しかし、そういう態度が無思考性などという波にのりうすらいでいるといわれる現在、またそうではなくとも、それがより広く、より深くに及ぶように、私達はもう一度ここで「考える」ということの必要性を感じるのである。そこで私達はその手段としてグループごとの「討論会」を再三にわたりもち、そこで自分の意見、考えを進展させ『文集』という一つのまとまりに集中させたわけである。そして、これが同時に自己の持つ大いなる表現となり、他への訴へとなつて、人の心に何らかの伝導があれば、これにこしたことではないと思う。

## 造園

### 3 D

わたしたちは、皆に和やかさを与えてくれる環境を望んで、一番それを欠いている新しい学舎のまわりに、緑の樹々と芝を植えました。それらはそこにあるベンチとあって、わたしたちに憩いの場を与えてくれるでしょう。

いま、私たちは、多くの人との相互理解を深めることの貴重さに目覚めるべきではないでしょうか。そして、そのため多くの方と自分を偽らない話をるように努めることが好ましいと思えないでしょうか。

わたしたちは自らのクラス記念祭参加作品がそれに役だち、多くの人の利用を得ればと思っています。

## フォークダンス

○10月17日昼休み

○体育館前にて

## 目 標

# 高校生の社会的位置づけ

### スローガン

- 憲法改定を考えよう
- 能研テストと受験制度を考えよう
- 非行化と青少年健全育成条例を考えよう
- 教育設備予備の拡充・部室獲得
- 正規授業を充実させよう

今年も例年のごとく第16回記念祭が行なわれるが、われわれは單なる学業的な面だけで終わらせてはならない。現在のわれわれの高校生活は受験戦争の中に封じこめられ、社会的な流れに対して一切盲目的な状態においやられている。現実に社会を見渡しても原潜香港問題、憲法改定問題、教科書国家統制法、また、徵兵制を復活させようとする動き、などこれらの一連の軍国主義化の流れがうずまいている。われわれは、これらの問題に対し考え方、対処していく機会が余りにも少ないのでなかろうか。ここに記念祭の意義が浮かび上ってくるわけである。現在の教育機関は、いわゆる「広く浅く」という形が露呈してきている。社会においても人間を規格化し、人的能力の開発を妨げ、いわゆるエリート教育によって少数の有能な者を育てるという面が表われている。この様な点から、われわれは独自の方向を固持し個人的になりがちである。種々の問題に対するにはわれわれは統一して進まねばならない。われわれは、われわれの目的を明きらかにし、われわれの根源的な要求である、反戦平和という事を追求せねばならない。ここにおいて、第16回記念祭における問題点を改めて省みる必要がある。

### 憲法改定を考えよう

「日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、國權の發動たる戦争と武力による威嚇または、武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。」と平和憲法の象徴である第9条は唱っている。

現在、現憲法に対して全面的な改定意見や部分的な修正意見が、憲法調査会より答申された。ここでは特に第9条の問題について考えてみたい。この第9条は、世界の平和を希求する声を代表している。

世界各地、ベトナム、タイ、マレーシア、中印国境、キプロス、ペルリン、朝鮮、コンゴで毎日、局地的な戦争が起きており、われわれの前に、世界戦争への道をひらいているのだ。「冷戦」、表面的な力の均衡であり、眞の平和には、ほど遠いものではないのだろうか。われわれが望む眞の平和は、完全軍縮が達成されなければ存在しない。この問題を考える上で大切なことは、われわれが現在の緊迫した世界状勢の中で、平和憲法の価値を認識し、特に第9条を改定することが日本の平和に、世界の平和に、どのような影響を及ぼすかを考えることである。と同様に現憲法が完全実施されているかどうかを生活に照らしあわせてみるとことである。

「基本的人権」が侵害されてはいないか、「最低生

活が保障されているかどうか。完全に「言論の自由」はあるのだろうか。

憲法改定は、われわれの社会生活の根本、物質的、特に精神的な機構をつくりかえるのである。第9条の改定がどのような背景をもつのか考えてみよう。「言論の統制」がどのような社会をつくるのか。

われわれは、再び日本に、戦争への道をひらいてはならない。われわれは、眞の平和を築きあげるために努力しなければならない。われわれは傍観してはならない。積極的にわれわれの意志を表示しよう。

## 能研テストと受験制度を考えよう

われわれにとって受験は非常に関心のある問題である。現在の受験体制が高校生活におよぼす弊害—高校の予備校化、人間疎外等—大きなものである。私たちが、より充実した高校生活を送るために、現在の受験体制を変えねばなりません。この大嫌名分をたてて能研テストが登場したのだ。けれども、これは本当にわれわれのことを考えたためなのだろうか。高度経済成長政策にともなって経済が成長した場合、それにともなっての操作が必要になる。その結果として、3%のハイクレントと単純労働者をふり分けるということが考えだされたのである。また、単純労働者の不足している今日、教育の機会均等のもとに、多くの人たちが、進学をし、浪人なるものの数も多く、これは資本家の目からみれば多分に無駄なことである。このような無駄をはぶくためにもこのテストでふりわける必要があるのだ。しかし、われわれとしてみれば、現在、この学歴偏重や、学問が横行している世の中で、人間並の生活も保障されていないような世の中で、それらの問題を解決することなく、テストでふり分けられるのはたまりません。また、高校を資本家、政府はわれわれが、不良でもなく、学生活動をするでもなく、唯与えられた仕事を、忠実にまもっているキガイ的な人間になるよう教育させようとしています。私たちは自分の道は自分で築かねばなりません。現在の教育制度は改良されるべきです。しかし、その名のもとにでてきたものでも、以上のべてきたように教育の国家統制の恐れがあつたり、〇×式（本年より採点に機械使用）のテストでわれわれの一生を決められてしまうような不確なものにゆだねるわけにはいきません。

## 非行化と青少年健全育成条例を考えよう

青少年の非行化をとりしまるために、ということで（夜間外出や団盲類の過度、立入り調査権の拡大、遊戯場入り禁止、etc.）で規制する条例をつくる動きは全国的なものになってきている。都でも七月、青少年健全育成条例が制定された。II・Rや生徒大会でも、この条例をつくることによりいまの青少年非行化問題の解決策になるか、ということが問題になった。非行化、ということが個人や監督者の責任のみにおきかえられてはいないか。社会環境からの要因、人間をひとりひとり孤立化させるいまの受験制度、それに伴う差別教育などをおきざりにしてはならない。職場に入っても自分の能力を充分発揮できないとか、人間疎外といわれるような問題も、そして不満、要求（私たちも持っている）のはき出し方をまちがえれば、その社会から生み出された原因を追求せずにとりしまることだけをねらう、のでは意味をもたない。自治活動を行っていく上で連携、団結は必要欠かせないことだし、それを妨げようとするものは排除していくねばならない。私たちにおいて重要なのはおさえつけられる権力ではなく、私たちの要求が充分に反映されることであり、そのための団結なのではなかろうか。非行化の問題も私たちを孤立化させようとする根源をつきとめていく中で解決の方向を見い出す必要があるのでないだろうか。

## 教育設備予算の拡充部室獲得

現在各クラブで部室がないとか、あっても狭いとかで非常に不満の声が大きい。

部室等、クラブの設備が不備ということは、クラブ活動が軽視されていることではないだろうか。事実職員会議において、クラブ活動より勉強を重視することを決定されるに至った。単にクラブ活動を勉強より軽視することができるであろうか。クラブ活動は、高校時代において精神的にも肉体的にも、貢献する役割は大きいと思う。我々は学校へ勉強だけをやりに来ているのではない。人間形成において、クラブ活動の果たす役割は大きい。

勉強とクラブ活動とは、人を中心たとえれば、両輪である。そのどちらかを小さく評価することは、車が道からはずれてしまう結果になる。勉強とクラブ活動とは対等に評価されるべきである。そのクラブ活動を充実させるには現状では部室が足りない。運動部において部室は更衣室化され、文化部において

ては部室を持ってないクラブの方が多いのである。現在の部室は本当の機能を果たしていない。しかし教師等から今のような低落したクラブ活動に部室の必要性はあまり認められていないという者もある。そのようなことをいわれないように、既設の設備を十分に利用して、もっとクラブ活動を活発化させると同時に、部室獲得運動も進めていこう。

## 正規授業を充実させよう

現在都高において遅刻、さぼり、早退等に見られる怠惰な状態がある。このようなことをなくすよう、数年前からいわれているが、効果はありません。なぜそのような怠惰な状態になっているかを考えると、まず高校が受験のための一階段とされ、予備校化されて生徒自身が受験勉強に追われている。それによって受験というものを第一に考え、そのための犠牲はやむを得ないと考える。従って真の意味で何が大切か見失いかがちである。誤った価値判断のもので遅刻、さぼり等が行なわれる所以である。

しかしあれわれには罰則はないが、それ以上に個人の心の中で束縛されている。われわれの義務、すなわち一般的なルールを守るということを果さないことは、権利を放棄することである。われわれの自

以上のような点が第16回記念祭におけるスローガンの問題であり、我々は主張する。憲法問題、能研テスト、青少年健全育成条例は、述べて来たように人間除外という面において無関係として葬り去ることはできない。我々は、これらの問題にたいして早急に考え、闘って行かねばならない。非行化問題、正規授業の充実問題もまた我々に最も密接した事柄である。ただ単に、平面的に考えるだけでなく社会背景というものを明きらかにしていかなければならぬ。とかく、一般高校文化祭は泰平ムードといわれる中に、無気力さと無思考性による享楽主義に陥りいつつあるが、我々都高生の義務、責任という面において、これらの問題について改めて一考を加えねばならない。

由、自治等の権利を守るためにも、義務を果すべきである。

また、現在の受験制度が影響していないだろうか。現在の受験制度において他人をけ落さなければ、自分は良くならないということが言われている。そのようなことによって利己的になってしまふ。それがクラス全体で授業をやって行なうというのをさまたげまた他人が遅刻、さぼり等を行なっても自分には関係ないことであるといつて黙認するようなクラスの状態である。しかしそれをクラスの内部から批判する動きが出てくるのが当然だと思う。それが都高の伝統でもあった。

そのように内部からの批判も出、かつ現在進められている予備校化防止、そして受験勉強終始しないことが必要である。それには、現在の授業というものは教師から与えられたものののみを消化していくという消極的なものであつてはならない。生徒自身が主体性をもち、われわれの間で協力し合い、自分たちで授業を作っていくのだという意気込みが欲しい。

またH・R討論を通して現状について反省を行なって欲しい。決して今の状態がいいものとはだれも思っていないはずである。

正規授業充実のためには、授業にたいする理想像すなわち、外からの力によって自分達の望まない方向に進まず、自主性を持って授業というものを自分で作り上げていくことではないだろうか。

## 映画案内

### 鉄路の闘い 黒い潜水艦

とき 10月17日  
ところ 講堂

# 反 戰 平 和

徵

都立においての、反戦平和の歴史は、日本の軍国主義の芽はえとともに始まった。自由と自治にみちたこの八雲丘の上の都立にも、その例外でなく軍国主義の波がおしよせてきた。学園の中に反動化の嵐が吹き荒れるとともに、我々都立の先輩は、反戦平和を叫び始めた。

しかし、社会の流れは、留ることを知らず戦争へと突入した。記念祭の内容も、学園の嵐を反映した。ファイサーにおいて、狂気のように乱舞し、不満のはけ口として求めた。彼らの姿勢は、かならずしも正しいとはいえない。しかし、彼らは、そうせざるを得なかつたのである。彼らは矛盾の根源を知ることが出来なかつたのだ。彼らの意志に反して、学園は、軍国主義化がすすみ、ペンを握る手に、銃剣を握らされ、あるものは、工場にかりだされ、あるものは、学徒川原という形で戦場へと駆られていった。彼らの死に直面した絶叫は、『わだつみの声』に代表される。それは、我々の胸に強くつきささるのだ。しかし、彼らの大半は、戦争という渦の中で、反戦平和をさけぶばかりしかも、胸の中で一なすすべをしらなかつた。

しかし、敗戦とともに日本の社会は、完全に流れをかえた。そして、激しく民主化の波が、打ち寄せ、封建的な、軍臣的なやぐらは崩壊した。新たに日本がはじめられたのだ。が、たちまち、再び社会は様相を変えた。国際的な冷戦が激化され、東西対立の緊張は、われわれに、核戦争への不安をたかめ、平和への道は閉ざされ、再び暗黒の時代へと道がひらかれた。そんな中で、彼らは、爆発した。あの戦争が何の意味を持たないことを、ただ彼らの生活を毀壊し、彼らの命をも奪うだけであることを。目前で、家族が殺され、同胞が戦場へ散つていったことを思い起こし、その不満のはけ口を再び、八雲丘の上で爆発させた。ファイサーの火は、空を焼きつけ、反動の嵐がすき去った学園の中で、自由と自治を讃美し、学生歌は、ファイサーの火とともに空を突き上げた。『反戦平和』の声は、彼らの胸の中からとどまることをしらす叫けばれた。

『反戦平和』も、社会の変革の中で色々な段階があった。はじめは、概念的な、ヒューマニズムであったであろう。だが、戦争の矛盾が自己の内部に蓄積されるにしたがって、直接的な戦争から、遠ざかることによって、戦争自体を客観的かつ理論的に分析し、戦争の原因を追求するようになった。そし

て、軍国主義復活となるべき要因に対して徹底的に抗議するにいたった。再び戦争を繰り返さぬよう。彼らの要求は、純粹であり、学問の真理を探求するための学園を戦火でみだされるのをきらつたのだ。そして、『自由と自治』の都立を讃美し、それを守るために闘つた。

記念祭においては、『反戦平和』は、強く都立の中に受け継がれ、自治活動においては、実践的な活動として、『反戦平和』は実践されてきた。この記念祭において、また都立において、『自由と自治』を謳歌できるのも、われわれの先人たちの歴史があつたためなのだ。

現在において、われわれは泰平ムードといわれる中で、反戦平和という語句に対して、問題意識をもたないだけでなく、一種の反発さえ持っているのだ。われわれが、冷静に現在の世界状勢を分析したならば、過去におけるとより以上に、われわれ自身が反戦平和を叫けば、『自由と自治』の壁を強固にしなければならない環境におかれていることが理解されるだろう。そのため、われわれが反戦平和をさけんでいるのである。都立の自由と自治を強調するのである。現在われわれは、ともすると現実の問題から逃避し享楽的なものへと陥ちこんでいく傾向にある。

われわれが現在なすべきことは、都立の自由と自治の価値を知り、それを引き上げてきた反戦平和の歴史を正しくみつめ、現在その伝統をうけつぎ、正しく現状に適応させて、発展させることだ。われわれが社会から逃避したとしても、われわれは社会の流れより外にでることはできないのだ。われわれは、社会の流れの前にたちはだかって、われわれの自由と自治を守らなければならぬ。

## うたごえ

○10月16日、18日 昼休み

○旧音楽室にて

# 都・高・を・考・え・る

## 教 諭

天も焦がすように燃え上がるファイアーに赤々と頬を輝かしている若者たちの群を見ながら、私は毎年考える。……酒を飲んで不意に死んでいたり、なお生きて何人かの子を育てたり、女優になっていたり、女優を追いかけてフランスにいたり、僻地で子供にオルガンを弾いてやったり、紙を売り込みに香港にいたり、……そんなさまざまな卒業生たちのことを思うのである。そして、またその頃は、松さんがさんさんと降る光の中でシャツ一枚になって太鼓をひっぱたき、校長が生徒と肩を組んでビールを煽っていた。

それから何年か経って、もう松さんも太鼓を叩くこともなくなり、私は眩しいような光の輪から一歩々々背後の暗がりの中に後退し、気がついてみると島づまるような孤独の地下室の中に降り立っていた。私はあらためて、われわれを他者から隔てているその空虚に驚く。そして、そこから再びぐれんの炎を振り仰ぐ。諸君らの中の一一番若い人が15才であり、その年令に都高のすべての人がこの祭壇の火を潜ったことには大きな意味がある。何故なら15才とは始めて世の中に眼を開く年令であり、まだ秋い蠟のような精神にこの記念祭に含まれた喜悦も苦惱も、原子力潜水艦も、能研テストも、オリンピックも、新幹線も、それらはもう何ものによっても永久に消されることはないとであろうから、偶然による出会い、仲間の関係、友情、諸君らが遭遇するそれには測り知れない価値がある。煙こそが、一人の人間から他の人間へ向かってわれわれを取巻く深淵の上に架けられる橋なのであるから。ファイアーはそれに抱えの薪を投じるだろう。しかし、それはやがて燃え尽きる。偶然の限界を起ることが、一つの明確な課題となって記念祭後の諸君らに迫ってくるであろう。

記念祭のたびに論議されるその意義も、私はただ一つしかないと思う。それは自分たち、自身でやるということ。それは参加しました参加しない玉荷を自分たちで荷うということである。行動とは常にふるい秩序を破壊せずに遂行されえないものであり、それは永遠の革命である。先立つものをし給え。そこに始めて逆説的ながら都高の伝統が諸君らによって生かされて行くのである。

そしてまた諸君らも、やがてここをハイマートとしてここから光を去って行くであろう。

そして、そう、

もうともに

かがやく浮出の微塵となりて

無方の空にちらはろう（宮沢賢治）

……である。

社会科 審査 勉強

## O.B.

いつの間にか空が澄みわたり、風が涼しく感じられるようになると、いよいよ記念祭、都立生活の中で一番あわただしく、かつ充実した時期であり、集約的に都立の良さ、欠点が露呈する時でもある、この過程で、皆それぞれに自己を見つめ、友を知り、社会を考えていく。特に一年生にとっては、入学後のとまどいと反発を乗り越えて、都立の「伝統」を感じたり、初めて「都高生」を意識する大切な飛躍点であろう。

また、われわれは毎年、記念祭をつらぬく一本の糸「反戦平和」についていわれもし、語ってし来た。戦争中最後の記念祭は、校庭を軍隊が取り巻くながで行われ、ファイアーは汚れた軍靴によってもみ消されたといふ。その時の先輩の怒り、悲しみはどんなであったことか。ここでわれわれは、もう一度「古きいらか」をかみしめてみたい。記念祭の暗黒の歴史は日本の暗黒の反映であったことを、その苦しみの中で決意した先輩の誓いを、無数のわだつみの声をわれわれは忘れてはなるまい。

そして現在、インドシナ半島には依然として戦争拡大の危機があり、日本では今だに沖縄を分断され、平和と民主主義、学園自治がじわじわと長されてきている。

こうした時期、われわれは、どんなささいな芽でも、一見美しく見える花でも、それが危険なものであり、トゲを隠している限り、確実に取り除いていかねばならない。

例えは「青少年保護条例」がそれだ。今の政府や文部省が一番手を焼き、保護したがっている非行少年とは誰なのか。深夜喫茶に出入りする少年たちなのか、そうではない。「非行少年」とは君たち都高生なのだ。学テ、能研、受験で一人一人をばらばらにし、指導要領の改定、教科書広域採択などで教育内容を統制している現在の教育行政からはみ出して、皆が力を合わせ、信頼し合い、共に考え、行動しようとする青少年、今年の

記念祭スローガンのような問題意識を持って、一致団結し記念祭を創造している君たち。君たちこそ今の「教育」を破壊する「非行少年」なのだ。記念祭それは都高生活の象徴であり、自治活動の結晶である。

健全なリベラリズムの伝統を発展させている都高生諸君、主体性ある非行少年・少女たちよ、自己を見つめ、高校生の社会的責任責任を追求していく中でファイアー・ストームをさらに大きく燃えたたせてほしい。

第13期生 牧原康夫

### 3年

今年は夏休み、田舎に引込んで、受験準備をすることになった。そこで、私は、友達もなく、時間も暇めっこしながら、孤独な作業を行なう。都高での過去2年間、物事への興味がいろいろの方面に飛び散って、スポーツ部に入ったり、勉強会を作ったり、右往左往するのに、終止してしまった感がある。そんな私は田舎の静かな生活の中で森鷗外全集を開いた。鷗外は、明治時代に、急進的な社会運動に飛び込んで行ったわけでもなく、時の政府と何かの問題で、表面だって対立したわけでもない。けれども「食堂」という作品の中に面白い箇所がある。大逆事件について雑談中に主人公の木村が、同じ官僚の大塚から、無政府主義とはどういうものか問われる。木村は、世界中の主な無政府主義者、各々の行動、思想について、くわしく述べる。彼は大逆事件に関して自分の意見を出さないが、私には、彼の態度が力強い政府への抵抗として感じられる。

なぜなら、彼は豈かな「知識」でもって、権力者の宣伝におどらされずに、大逆事件について自分自身が正しいと納得のいく判断を作り出す事が出来る。都高の生徒大会でベトナム問題を取り扱った時、ベトナムの「具体的状況」を述べられる人はいなかった。アメリカの不正行為を三つぐらいあげて、それからこの理由が全ておし測られるといった調子の難な意見であった。彼等は、「主観的」に正しいと「信ずる」社会機関（例えば、新聞、政治団体）から物事への「判断」を与えてもらい、それをこちらの思考なしに受け入れているに過ぎないのではないか。ある意味で、明治の木村より、権力者の意見に従順だと言える。地道な学習を通して、私達自身の判断を作る要求が高まってほしい。「只、僕は、言论の自由を大事な事だと思いますから、発言禁止が余り手広く行われるのを、歎かほしく、思うだけです」とはぼそぼそ吐いても、それが木村の知識欲を裏にこめているので、言論弾圧への批判が真実をもって響く、私達の主張も、彼の「ボンボン」と同じ迫力を持つように、なることを願う。

辻 千恵子

### 2年

太平ムードなどということが言われ、なんとなく世の中は安定してきたようなことが言われる。しかし、われわれは経済的にも精神的にも少しも安定していない状態だ。物価の値上がりのために、なにをするでもひどく金がかかって、小遣いの不足でいつもヒーヒー言っている。受験ノイローゼでの自殺や殺人は最近次第にふえてきている。その中で、防衛庁の人が、「自衛隊の不足は微兵制で補えばよい」と言ったり「防空壕を造らなければならない」などという法案が作られたりしている。

現在、我々高校生には、多くのなすべき仕事がある。我々は勉強だけをしている訳にはいかない。高校生の自殺が世界一であるという現状は高校生の自治会にあたえられた任務の大きさを示している。我々は方向を持った勉強を安心して出来る環境が欲しい。その為にも現状をしっかりと捉え、その中から真実を探求し、自らの取るべき態度を探っていくかねばならないのだ。原子力潜水艦の寄港や、青少年健全育成条例の施行や能研テストが行われることによって我々はどのような位置に立つことになるのか。そして当面の問題として我々はどのように勉強や自治活動を進めていけばよいのか。どのような学園生活を送ればよいのか。これらの問題の追求を忘れてはならない。

戦後の都高の自治は、父母や先輩や友人を戦争で失ったことに対する怒りの爆発にはじまった。反戦平和の旗が高くかかげられ、封建的なものや、反民主主義的なものの根絶が叫ばれた。そして、その後から、今日に至るまで脈々として都高の自治の中に流れているものは「歴史をしりぞけ、真実を探究する」という態度である。この先輩の血と汗の結晶とも言うべき、都高の自治のはこるべき伝統を持続しなければならない。現在、都高の自治会は、溝、などと言うことが言われ、多くの問題をかかえている。われわれの間に自治に対する空白意識とも言えるようなものが存在している。この原因としては、例えば、積極的な態度の欠如であるとか、色々なことが言われる。しかしこれは決して一つの言葉を言って、それで終わらせられる性格のものではない。我々は、これを、都高の自治の歴史や、社会状勢の動き、社会環境の問題など、あらゆる方面から捉え、分析していかねばならない。単に攻撃を目的とするような批判や、愚痴的な批判を言っているだけでは駄目だ。発展を望んで相互批判を行い、おたがいの連帯を更に深めていくという方向が必要だ。

平山正男

記念祭、この機会に、この自治意識の喪失ともいいうべき状態を打破しよう。

## 1 年

都高生は全体でもっともっとまとまらなければならぬのではなかろうか。都高の数年前を聞くと、小学校並の小規模なクラス構成で、学年や学校全体としてよくまとまっていたと言う。しかし、現在は戦後のペビーベームの波がこの学校にも押し寄せた。そして規模はみるみるふくれた。そのような都高の中で半年程暮してみて、どうも学校全体としてのまとまりが欠けているように思われる。僕たちの中に、「お互に仲間だ」と言う意識がどれだけあるだろうか。僕たち一人一人の間にどれだけ信頼感や連帯感が発達しているだろうか。僕はそれが非常に少ないようと思われる。受験競争が段々激しくなる程に個人個人が自分のカラの中にじこもっていってしまうような気がする。自治活動においても、ハッキリと無感心を示し「俺には関係がない」と言って、H・Rに参加しない人もいるし、HRに参加しても講座について考えようともしない人がいる。生徒大会においても同じようなことが言える。このような現実のをどう考えたらよいのか？ハッキリ言えることは無関心な僕たちが自治活動をより活発化させていく上には最大の敵である。小さな幸福などという言葉で形容されているもの（自分さえ幸運になれば…）というような考え方方はまちがっている。社会全体にそのような傾向があつても、それを都高に持ち込む必要は全くない。僕たちは自治会にたいして、関心があるとかないということに対立して両者の間に溝を作ってしまう以前に、お互いがもっと話し合い、理解し合い、相手を尊重するというような雰囲気を作ることが大事であると思う。規模が大きくなればなる程に、全体としてまとまりにくくなるであろう。受験競争が激化すればする程にまとまることが困難にならう。しかし、僕たちはこんなもののために、僕たちにあたえられた宝ともいるべき自治活動を捨ててはならないし、また私たちの先輩が築いた「自治の伝統」というものを踏みにじってはならない。僕たちは今こそ大規模になった都高の現在を考え、未来を考えるために話し合い、そして先生とも先輩とも手を取り合って、新しい自治の1歩を作らなければならない。 楠原 熟生

## ・編集後記・

炎天下の広告とり、構成、カレンダーをにらみながらの印刷屋がよい。やっと原稿をおさめることができた。プログラムを単なる、演劇や展示の案内にはおわらせたくない。主張、意見を多くして、第十六回記念祭の縮図であらしめたいと、頑張ってはみたが、このようなものになってしまった。ただ、このプログラムが、皆の意識のなかに、第十六回記念祭が生きながらえるのに、助けとなるようなものであって欲しいと願っている。

●東急線自由ヶ丘駅 東急ビル4階

神田と同一機能を持つ総合書籍店

児童図書から……新刊・婦人・家庭  
文学・参考書・社会・理工・原子力まで

★神田と直結して ご用命を承ります

■神田 ■自由ヶ丘

SSD三省堂書店

東京神田神保町1-1 電(代)291-1126  
振替 東京1597  
東急線自由ヶ丘駅東急ビル電718-2108-2109

自由ヶ丘  
三省堂

ふらんす  
菓子 et 喫茶

Pâtisserie française  
CAMOURA

都立大学駅前  
洋菓子 (717) 4660  
喫茶 (717) 0805

都立大学前

栄養本位

そ  
ば  
は

美しい味覚

更 科

TEL (717) 3047

なんでも揃う

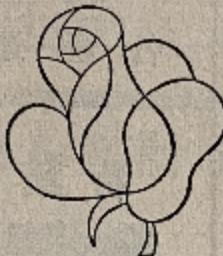
御買物は

トリツフードセンター

バカンスの御帰りは

御二階味の散歩道で

お買物は  
バラのムードに  
つつまれた……



落着いた雰囲気と行き届いたサー  
ビス そして洗練された商品を  
豊富に取揃えてございますから  
お買物が楽しんでいただけます

お買物の楽しさを  
商品券 東京・大阪・京都・横浜共通



東京 日本橋  
**高島屋**  
電話(211) 4111

新刊書の店

社会通信教育特約店

参考書、地図  
各専門書

**八雲堂書店**

東横線都立大学駅前

TEL (717) 2339

街かどに……あなたの銀行

**住友銀行都立大学駅前支店**

東横線都立大学駅前 TEL (717) 2151 (代)

和洋菓子 創業明治18年

## 筑紫ファンタジア

西銀座店…デパート内  
銀座店…松屋味の名店街  
渋谷店…東横のれん街  
目黒店…東横線都立大坂下  
電話 (718) 2181 (代)

おいしい調理パンで  
楽しいお食事

## 旭ベーカリー

TEL (717) 0881・9974

新刊書籍、雑誌

教科書、学習参考書

## 恭文堂

東横線学芸大学車口前

(712) 4049・7614

スキー・スケート用品

各種運動販売

(本校生特に割引販売)

## 若葉堂スポーツ

都立大駅西口バス通り

TEL (717) 5522・8623

柿ノ木坂名物

## 福々まんじゅう

肉まんじゅう

山盛 小倉アイス

アイスクリーム

都立大学坂下 (717) 3286 ミカワヤ

安い！ うまい！ 早い！

3拍子そろった

中華料理の店

## 正陽樓

都立大学駅坂上

# 啓成予備校

大学受験本科 第2学期

開講中

大学受験研究科 A (理科系、文科系)

大学文科系受験科 B (数I・IIコース、数Iコース)

大学理科系受験科 C

大学文科系受験科 D (英語コース)

高校生のための大学受験講座

第2期生募集 (高3年対象)

期間 9月14日—2月10日

科目 英語、数学、国語

(科目は自由選択、入学時)

第3回日曜公開模擬試験 (11月1日)

豊島区巣鴨6の20 国電都電大坂駅2分 TEL (982) 5623

定評ある大学進学指導

# 城北予備校

## 公開模試

=受付各試験の一ヶ月前より

第3回=12月1日(日)

英・数・国及理・社各一科目 選択

第4回=1月19日(日)

英・数・国及理・社各二科目 選択

○期間 12月22日~31日

## 冬期講習会

=受付11月22日より

英訳、英作、現代文、古文、数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ  
物理、化学、日本史、世界史、等

単科で一科目20時間の講習会

◎詳細は規則書(切手20円封入のこと)

新宿区市ヶ谷左内町29 (331) 3906 国電 市ヶ谷駅

## 高校生活を設計する学研のコース!!

高1コース  
高2コース  
高3コース

毎月14日発売/発行・学習研究社



味の芸術

異色ある御菓子

# 蜂の家

御贈答、クラス会等に御利用下さい。

自由ヶ丘店 自由ヶ丘駅前 (717) 7367

都立大学店 都立大学駅前 (717) 0332

渋谷店 ハチ公地下商店街 (461) 5507

# 法政大学

千代田区富士見町3-1

大学院(修士・博士課程)

法学部  
文学部  
社会学部  
経営学部  
工学部  
経済学部  
短期大学部  
通信教育部

## 第16回 記念祭歌

1. ちーしーきをーら うひとおみーに わ  
れうひとーも はつ と リケリ みせ  
クのマザーにつづまれて うた  
ジえひーひけたーの らかに

## 第十六回記念祭歌

作詞 住田・中村・片岡  
作曲 古庄紋十郎

一、雄々しき空の一角に

我らが友は集いけり

緑の木々につつまれて

歌声ひびけ高らかに

二、希望に胸もふくらんで

我らはのびる大空へ

夢多き日よ青春よ

都高の精神いつまでも